

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			パーティションで児童に対して必要なスペースを確保できるように配慮している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		段差や階段があるため棄権の必要のある児童は職員間で情報共有を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価実施を行い利用者の方のニーズを把握したうえで改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			HPにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在は実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修や事例検討をもとに事業所での改善点を想起して取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者のニーズや職員間での情報共有を行いながらアセスメントを行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化されてツールや個々の児童のニーズに合わせてツールを手作りしたり、また児童と一緒に作成している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援での迷いは危険因子にもつながるため些細なことでも職員間で連絡、相談して立案するようにしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			児童の状態を見ながら自発的にプログラムに取り組めるよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			目標設定を行いながら児童の状態に合わせて実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別支援が主となっているが、今後はイベントを通して時には集団療育も行っていけるよう計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝朝礼にて行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日終礼にて行っている。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の中での児童の様子や保護者の方の要望など細かく記録として残している。
----	--	---	--	--	--------------------------------------

	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児童の状態や保護者のかたの申し入れによってその都度見直しを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			個々のお子様の課題に応じて基本活動を複数組み合わせ、支援を実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	○			児童の状態に精通したものが会議に参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者の方より要望があった際は学校との連絡調整の為情報共有や相互理解を図れるように取り組んでいる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	医療的ケアの必要な児童は現在いない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			支援内容の連携が出来るように取り組んでいる。保護者の方の要望により移行支援としての情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			児童のより良い生活の実現の為支援経過や内容の情報共有をしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			要望に合わせて他の専門機関との連携が取れるよう取り組んでいる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	現在交流は行っていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に参加している。
連携	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の方との関りは日常におこなっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			必要な児童には行っている。また要望があった時やこちらが必要と認めた時には行っていく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に必ず説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者の方からの要望により助言が適切にできるよう心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会は現在行っていない。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情への対応は苦情内容を周知し、迅速かつ手稲に対応することを心掛けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月HPで事業所の様子や情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は鍵付きの書庫にて管理、保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の方と共に考えていきながら相談しやすい雰囲気づくりに取り組んでいる。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現在は行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			研修の実施、参加を行い、事業所内で想定したシミュレーションを実施している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月様々な災害、防災を想定しおこなっている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的な研修の実施により職員の意識向上に努めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在必要な児童はいないが、必要と認められる場合は保護者の方と協議し各機関との連携を取りながら慎重に決定する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			児童の状態把握に努め、教材の取り扱いに注意している。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険因子が把握できる体制作りと小さな危険も回避できるように心掛けると共に、発声した時点で記録し職員間で情報共有している。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」岡山高島校 保護者等数（児童数）34 回収数 9 割合 26 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	2		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2		もう少し多い方がいい 対応：人員配置については現在調整中です。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4	2	自立歩行が困難な子には対応していないことが分かりやすい。 対応：今後歩行が困難な児童が利用される際には職員間で情報共有を図り対応していきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	9			
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	9			
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	1	5	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9			
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	2		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	6	学習支援がメインの為に特に計画はないように思う。 対応：要望があれば定期的に保護者会を開き情報交換が出来る場を提供したいと思っています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9			
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	4		H P 未確認。お休みのお知らせはあり。 対応：今後もH P 場やお知らせを通じて発信していきたいと思っています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	8	1		

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	2		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	1	1	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	9			
	⑱	事業所の支援に満足しているか	8	1		送迎があると尚いいです。 対応：送迎は現状難しい所ですが、保護者の方の送迎の元情報交換が出来ているように思われます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。